

歩こう会・・み教えとともに

「長瀬 善立寺から金原 圓勝寺へ」往復 20 キロ、76 名が参加

□実施日 平成 27 年 10 月 31 (土)

岐阜教区・揖斐組仏教壮年会の合同企画行事として、上記の会を開催しました。

親鸞聖人はじめ多くの先達は、歩いてお法りの伝道をされました。そのご労苦を体験させていただき、紅葉の秋を歩きながら語らい朋友の輪を広げることをねらいとして実施しました。

朝晩幾分寒くなった、10 月 31 日の土曜日朝 8 時半、参加者が揖斐川町谷汲長瀬の善立寺に集まりました。



76 名が趣旨に賛同して、各地から元気に参加してくださいました。



小里哲郎揖斐組仏教壮会長の進行で最初に「重誓偈」のお勤め、「浄土真宗のみ教え」の拝読をした後、河村信昭岐阜教務所長から激励のご挨拶を頂きました。



川瀬善忠揖斐組組長の歓迎の挨拶。林時夫岐阜教区仏教壮年連盟理事長の主催者挨拶に引き続き、揖斐川町体育指導員（善立寺総代）の林孝子様からステッキ歩行の説明を受けました。



工程は片道約 10 キロ、受付でスポーツドリンク・飴玉の提供を受け、9 時半に善立寺をスタートしました。河村信昭教務所長の「スタート」の合図で賑やかに出発しました。



ご本山 750 回大遠忌法要時に、岐阜別院から本山まで往復歩いて参拝された幸田昌三顧問（宗会議員）他 3 名の会員が、笠をか

ぶり作務衣の姿で同行下さいました。



女性の皆さんや高校生も参加。サポーターとして7台の自家用車を出していただき、荷物の運搬、道案内、フォローの必要な方の運搬等きめ細かく支援体制を組みました。



行程の途中に、ご法義の篤い真宗門徒が残された句碑「みほとけに 娑婆の姿を教えられ 感謝で送る この身幸あり」を拝み、一路圓勝寺を目指しました。美しい根尾川の流れ、紅葉し始めた山々、切り立った渓谷等を眺めながら、約2時間半をかけて目的地に着きました。

平成の大改修をされたばかりの圓勝寺では橘正信（元本願寺派総長）住職、坊守、3名の門徒総代様が温かくお迎えいただきました。



広い向拝で早速一休みしました。お勤めの後 本堂内で橘正信住職から圓勝寺の歴史、

蓮如上人の六字の名号等、保管されている寺の宝物の紹介やご法話をしていただきました。



役員が準備してくれた「お弁当」を頂き、後、参加者全員で記念の集合写真を撮りました。



帰路は幾分速足。一人の脱落者もなく無事に善立寺に戻り、揖斐組の役員等が持ち寄った景品の抽選会を楽しく行いました。全員がすすがしく、来年の再開を約して参会しました。

景品は
野菜や手作りの
ケーキが一杯

